

こどものほん 新刊あんない

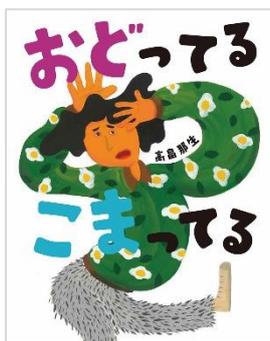
2023年 7 月号



「へんしん!」

北村 直子//作 E キ こぐま社 2023年5月発行

もりもり食べて、しばらくすごしたらヘンシーン！ ページを開くと姿が変わる驚きと、言葉のリズムの楽しさが魅力です。この生きものは何になるのかな？ 生物の成長に興味をもつきっかけになりそうな絵本です。

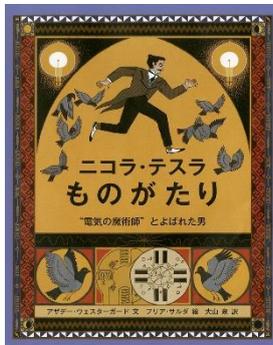


「おどってるこまってる」

高島 那生//作 絵 E 913 タ フレーベル館 2023年5月発行

きぶんがよくておどってます。おとなりさんもおどってる？ いえいえわたしはこまってます！ 見た目は似ているのに、実は全然違う。こまっているけどおどってる！？ さあ、どっち？

絵も楽しいけど声を出して読むとさらに楽しい、他者理解にもつながるユーモア絵本です。



「ニコラ・テスラものがたり “電気の魔術師”とよばれた男」

アザデー ウェスターガード//文 フリア サルダ//絵 大山 泉//訳 K289 テ 評論社 2023年4月発行

東ヨーロッパの小さな村に生まれた、ニコラ・テスラは、エジソンのライバルとも言われた発明家です。現代の生活に欠かせない電気技術を考え出したニコラ・テスラの生涯を描いています。巻末に詳しい解説と参考文献があり、興味を持った読者がさらに読み進めることができる工夫がされています。



「ちよっこわいメモ」

北野 勇作//著 森本 晃司//画 K 913 キ 福音館書店 2023年5月発行

プールでひろった緑色の円盤の話、みずたまりに落ちていたぬいぐるみの熊の話など、「ぼく」が語りかけてくる設定の、ちよっこわい不思議な話4つ。話の中に出てくる、こわいことを書いたメモが実際に本の中に挟み込まれているので、臨場感たっぷりです。こわかったという気持ちだけがモワっと胸の中に残っている夢のような、不思議な気持ちにさせる話です。

※この他にも、あたらしい本がたくさんあります。くわしくは、「としょかんホームページ→WebOPAC 本をさがす →資料検索→新着検索→新刊検索または新着検索→子どもの本」をチェックしてみてくださいね。